

R2.3.27 北方学園開校準備委員会
方針決定事項

1. 制服

[準備委員会としての決定事項]

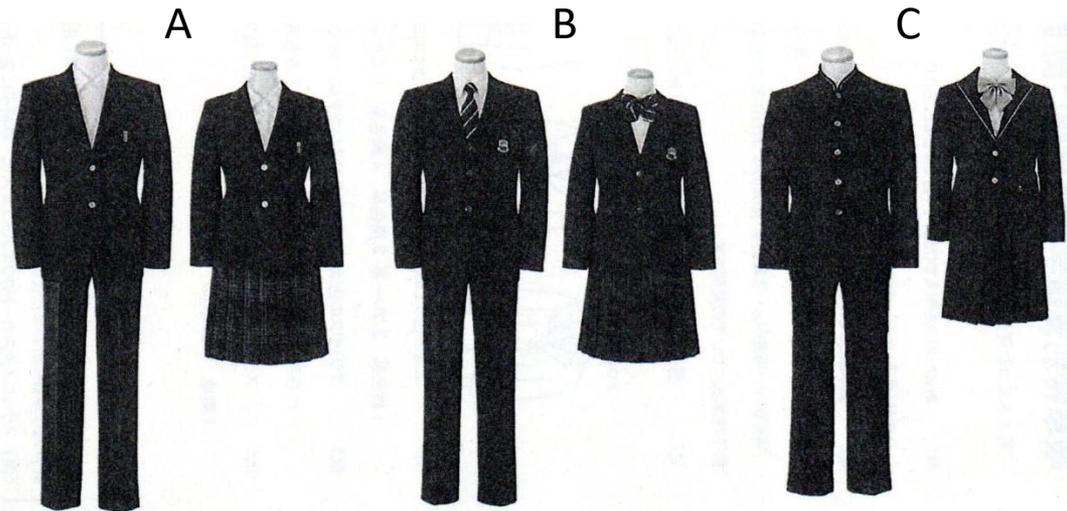
- ・ 両校とも制服を定め、7年生から着用する。
→ 経済的観点、識別・統一感、けじめ等の観点から必要と判断

[今後のプロセス]

- R2.5 児童生徒が制服について意見交流する場を設ける。
- R2.7 専門部会において、制服の候補について数点の候補をあげる。
(児童生徒や保護者の意見を参考にする。)
- R2.9 アンケート調査により決定する。(南・北ごとに)
(幼保小中の保護者、小学校3年生以上の児童、中学生を対象)

[候補の参考例]

よいと思われるもの
数点を候補として
あげ、最も支持の高
いものとする。



2. 校名・校章

[準備委員会としての決定事項]

- ・ **一般公募により、令和2年末までに決定する。**
→体操服や鞆などの学用品、各種表示、書類等で早く必要

[今後のプロセス]

R2.5 校名を、広報きたがたやHPで公募する。

(2校セットでも単独でも可とする。)

R2.7 専門部会において、数点の校名候補をあげてアンケート調査を実施する。

R2.8 アンケート結果をもとに、校名を決定すると同時に校章を公募する。

R2.11 専門部会において、数点の校章候補をあげてアンケート調査を実施する。

R2.12 アンケート結果をもとに、校章を決定する。

[その他]

- ・ 校名と校章が決まり次第、校旗、学用品、門柱等の準備にかかる。

- ・ 校歌について

 - 当面、現在の校歌を愛唱歌として歌う。

 - 開校後に、地域や子どもたちの思いも含めて制定する。

3. 部活動

[準備委員会としての決定事項]

- ・ 開校時は、両校に令和4年度の部活動を設ける。
(野球、陸上、バレー、バスケ、剣道、サッカー、卓球、ソフト(女子)、テニス(女子)、美術、家庭科、パソコン、英会話、合唱)
- ・ 令和5年度の夏の中体連は、合同チームを基本とする。
- ・ その後、「チームが組めれば単独校」「チームが組めなければ合同チーム」を基本とする。

[今後のプロセス]

- R2.4~ 「教育活動としての部活動」「社会活動としてのクラブ活動」の趣旨について理解を広める。
スポーツ少年団、部活動、ジュニアクラブ、社会人スポーツの連携を強化し、活動継続可能な体制を整備する。
- R2.9 小学校6年生に対し、部活動の見通しについて説明する。
- R2.10~ 両校の部活動実施に向けた環境整備を進める。(含：指導者確保)

[その他]

- ・ 小学校5年生から部活動に参加可能とする。
- ・ 部活動を通じた両校の交流を推進する。

4. 指導体制

[準備委員会としての決定事項]

- ・ **4年-3年-2年の指導体制とする。（基本は小中一貫）**
→ 発達段階に応じた目標設定、効率的な学校運営をする。

[設定理由等]

- ・ 「学級担任とともに学習や生活の基礎・基本を徹底する4年間」
「徐々に教科担任制を取り入れ、思考力や表現力を育てる3年間」
「全校体制で、一人ひとりの進路に向けた夢をかなえる2年間」とする。
(中学校部分が2校体制で、教職員が増え、進路指導体制が充実する。)
- ・ それぞれの区切りに式を設けるとともに、6年生には前期課程修了式を設ける。
(区切りが増えることにより、リーダーとして活躍する場が充実する。)

[その他]

- ・ 行事について

→ 6年生での「京都・奈良への旅行」、9年生での「平和学習」については、学習内容等との関係から継続する。
→ 運動会、体育祭についての実施方法は、先行例をもとに検討し、開校1年前までに決定する。

5. こども園の体制

[準備委員会としての決定事項]

- ・ こども園の規模は、次の通りとする。

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 園児数 | 6 | 12 | 18 | 48 | 48 | 48 | 180 |
| 学級数 | 2 | 2 | 3 | 3 | 2 | 2 | 14 |

[設定理由等]

- ・ 幼稚園、保育園の将来的な統廃合等を見越す。
- ・ 北学園内の受け入れ可能規模による。

| | | ()は定員 | | | | | |
|----------|------|---------|--------|--------|---------|---------|--------|
| | | 中保(165) | 北保(55) | 東保(90) | 南保(200) | 町幼(105) | 計(615) |
| R1 年度 | 3歳以上 | 84 | 23 | 57 | 95 | 88 | 347 |
| | 3歳未満 | 50 | 20 | 20 | 47 | | 137 |

[その他の方針]

- ・ 通園バスは廃止する。(経費面、他の保育園との関係等から)
- ・ 小中との連携、施設の共有等を特色とする。
- ・ 型は、補助金等を考慮し、有利な方式とする。

6. 学園の特色

[準備委員会としての決定事項]

「だれもが安心して学び合える学園」を基本理念とし、次の特色を打ち出していく。

- ・ ICT教育、外国語教育、特設教科等による学力向上
- ・ 幼保小中連携による豊かな心の育成

[具体的な施策]

- ・ 早期に1人1台タブレット貸与による情報活用能力や表現力、学力の向上
- ・ 楽しく外国語と接する機会の充実によるコミュニケーション能力の向上
- ・ 地域教材を通して学習内容の理解を深めたり、地域を愛する心を育てたりすることを目的とした小中一貫の特設教科「北方科」の創設
- ・ 1人ひとりの子どもに対する理解を深め豊かな心を育む義務教育学校制度や北方コミュニティ学園の取組



「学力を高め進路の夢が実現できる学校」 「楽しく安心して通える学校」

[その他]

- ・ 特色ある教育を展開し町の魅力を高めるプロジェクト
 - 教育力を高める義務教育学校2校体制への再編
 - 北方コミュニティ学園による幼保小中高、地域連携体制
 - ICT教育、外国語教育、特設教科 等